

## 栄谷

須々万の豊かな米を持って出て、栄谷の水車で精米し栄えたので栄谷と名付けたとの説もあり、本藩領須々万と支藩領徳山との「境の谷とも言われた。

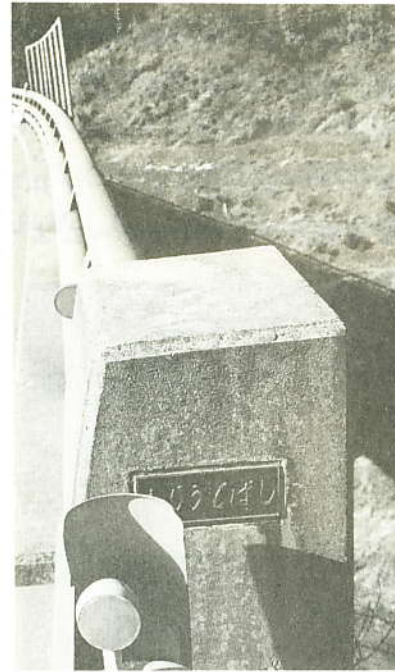
また山と山との「境」の谷とも言われ、昔は須々万の市に行って酒を一杯やって帰るとこの辺りで酔が出、徳山の町に行って酒を一杯やって奥に帰るとこの辺りで酔が出るということから、酒酔谷と言っていたのが、いつのまにか栄谷と変わったという説もある。

ともあれ、古今東西を問わず、何でも美しい良い名をつけたいのが人情で境の谷を「栄谷」としたものと思われる。

### 栄谷自治会館



## 狩人橋・狩人のほこら・獵師わら



かりうどばし



狩人のほこら

この橋を「かりうどばし」と言っている。この名前は、ここの地名「りょうしわら」にちなんで付けられたものである。

ここには、昔腕のいい獵師が女と住んでいたが、ある日、妻が訪ねてきて大げんかとなり、栄谷の川に身を投げて3人とも亡くなった。

村人は3人を哀れに思ってほこらを建てて祭り、この辺りを「りょうしわら」と言った。「わら」とは、集合場所・住んでいる所という意味である。

ほこらは、道路の向かい側に移転されて建っている。